

事業概況—海外事業

2013年度 業績

当社を取り巻く市場環境は、米国・欧州の主要先進国が緩やかな回復基調となったことなどを背景として、海外市場全体は弱い動きながらも回復傾向で推移しました。

こうした環境を背景に、中国・欧州・米州では、パワー半導体やパワーエレ機器の需要増により増収となりました。一方アジアでは、発電設備や変電設備の大口案件減少、ディスク媒体の需要減により減収となりました。

2013年度は、アジア・中国における基盤整備の取り組みを進めました。具体的には、アジアにおいてタイ新工場の立ち上げやタイ変圧器メーカー(タスコ・トラフォ社)への資本参加、韓国・ベトナム・カンボジア・ミャンマーへの販売拠点設立を行いました。中国では、上海電気集団股份有限公司と高圧インバータの販売・生産における合併会社の設立や、富士電機(深圳)社におけるパワー半導体後工程の新棟建設を行いました。

2014年度 重点施策

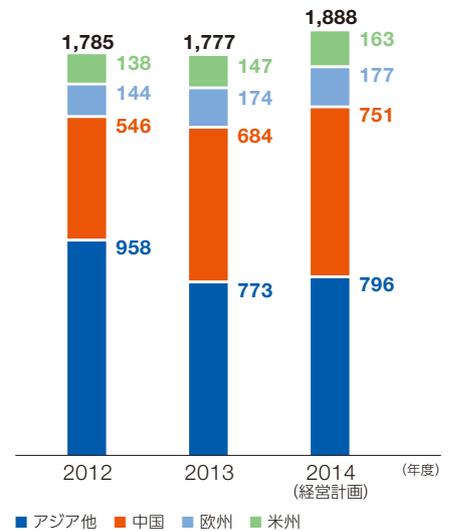
アジア・中国を中心とした売上拡大

2013年度に進めた取り組みを成果として結実させるとともに、中国・アジアにおける自販機の販売会社設立や、新たなM&Aの推進により、海外事業の基盤強化を図ります。

アジアでは、発電・社会インフラや産業インフラ、パワーエレ機器の売上拡大を図ります。中国では、引き続き堅調な需要が見込まれるパワーエレ機器・パワー半導体に加え、自販機の売上拡大を図ります。

海外売上高(地域別)

(億円)



アジアにおける主な取り組み

アジアの中核生産拠点 タイ新工場の立ち上げ

2013年12月、タイ新工場(富士電機マニュファクチャリング(タイランド)社)が竣工し、インバータ、無停電電源装置などの生産を開始しました。

タイ新工場は、アジア・欧米向け製品のの中核生産拠点として位置付けています。今後、自販機、ガス絶縁開閉装置などに生産機種を拡げ、さらなる事業拡大に取り組んでいきます。



富士電機マニュファクチャリング
(タイランド)社



無停電電源装置

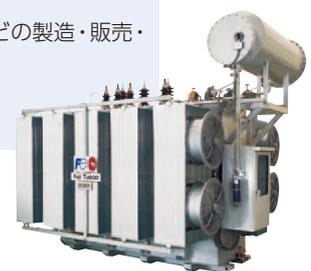
タイ変圧器メーカーへの資本参加

2013年10月、タスコ・トラフォ社(以下、タスコ社)へ出資し、富士タスコ社を発足させました。

タスコ社は、タイの政府系配電公社や民間企業に対して数多くの納入実績があり、東南アジアやアフリカにも広く販売実績を持つ現地の有力変圧器メーカーです。タスコ社のリソース活用により、製品ラインアップの拡充、販売・サービス網の拡大を図ります。

新会社の概要

新社名	富士タスコ社
事業内容	変圧器・配電盤などの製造・販売・保守サービス
出資時期	2013年10月
出資比率	67.7%



変圧器

生産拠点と販売・エンジニアリング網(2014年3月31日現在)



中国における主な取り組み

高圧モータ中国最大手の上海電気と高圧インバータ合併会社設立

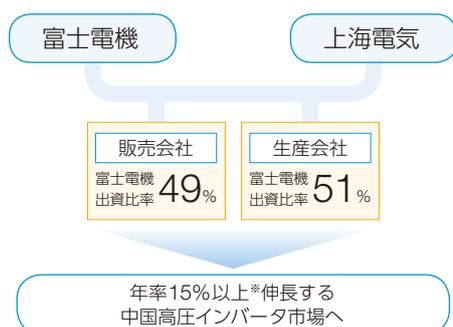
2014年2月、中国国有企業の上海電気集团股份有限公司(以下、上海電気)と中国における高圧インバータの販売・生産において、合併会社2社を設立しました。

上海電気は、中国全土に販売網があり、高圧インバータを適用できる高圧モータでは中国国内シェアトップの重電メーカーです。富士電機が保有するパワーエレクトロニクスや制御分野の技術力と、上海電気が保有する機械分野の技術力および高いブランドに基づく販売力のシナジー効果により、中国での事業拡大を目指します。

パワー半導体後工程の生産能力増強(新棟建設)

2013年6月、富士電機(深圳)社において、パワー半導体の生産能力増強に向けた後工程生産ラインの新棟を建設しました。

並行して、現地要求仕様製品のスピーディーな開発を目的としたデザインセンターの設置により、現地設計体制の強化も進めています。開発から販売まで一貫した体制を強化することで、地産地消を進め、中国での売上拡大につなげていきます。



* 当社推計値



高圧インバータ



富士電機(深圳)社



後工程生産ライン